

エドワード・ジェンナーの像(その3)

大阪大学微生物病研究所
加藤 四郎

ロンドンのウェルカム・ビルディングにある モンテベルデ作の青銅像

このジェンナーの青銅像は、ロンドンの Euston Road に面して建つウェルカム・ビルディング (The Wellcome Building) にあるが、私は1971年7月に訪英した時に、この像に接した。当時、本誌前号 (第18巻第2号) で紹介した大理石像の行方を探していたが、思えばこの青銅像につけられてあった説明文により、大理石像がジェノアにあることを知ることになった。

1983年大阪で第21回日本医学会総会が開催されたが、その特別展として天然痘根絶記念展 (内藤記念科学振興財団との共催) が開かれることになった。私はその企画運営委員長として、先ず大理石像の展示を企画してジェノアの美術館と交渉したが果たされなかった。しかし日本ウェルカムのブラッドショウ社長の協力を得て、青銅像を空輸して展示場の中央を飾ることに成功した。



ウェルカム・ビルディングに
ある青銅のジェンナー像
(1978年筆者撮影)



物館で展示された。

この像には、Giulio Monteverde という自署と思われる文字と、ローマで鋳造されたことが陰刻されている。奇妙なことに、この青銅像が、ローマよりウェルカム・ビルディングに到る経緯は明らかにされていない。



上：ロンドンの Euston Road に面してギリシャ神殿風の偉容を誇るウェルカム・ビルディング（1978年筆者撮影）

下：第21回日本医学会総会の特別展「天然痘ゼロへの道」—ジェンナーより未来のワクチンへの会場入口を飾った青銅のジェンナー像（1983年筆者撮影）

見開きページ：くすり博物館に展示された青銅のジェンナー像（1983年筆者撮影）